

KY活動への取り組み



労働災害は、「自分は事故に遭わないだろう」「いつも大丈夫だから事故になることはないだろう」という気の緩みから起きるものです。

しかし、いったん事故が起きてしまえば、巻き込まれた人たちは体にダメージを負い、事故に巻き込まれた人の家族に精神的苦痛を負わせるなど、多くの人に被害が及んでしまいます。

事故は悲惨なものです。

だからこそ、万にひとつでも起こしてはならないことだと考え、KY活動を通して安全な現場を作っていきます。